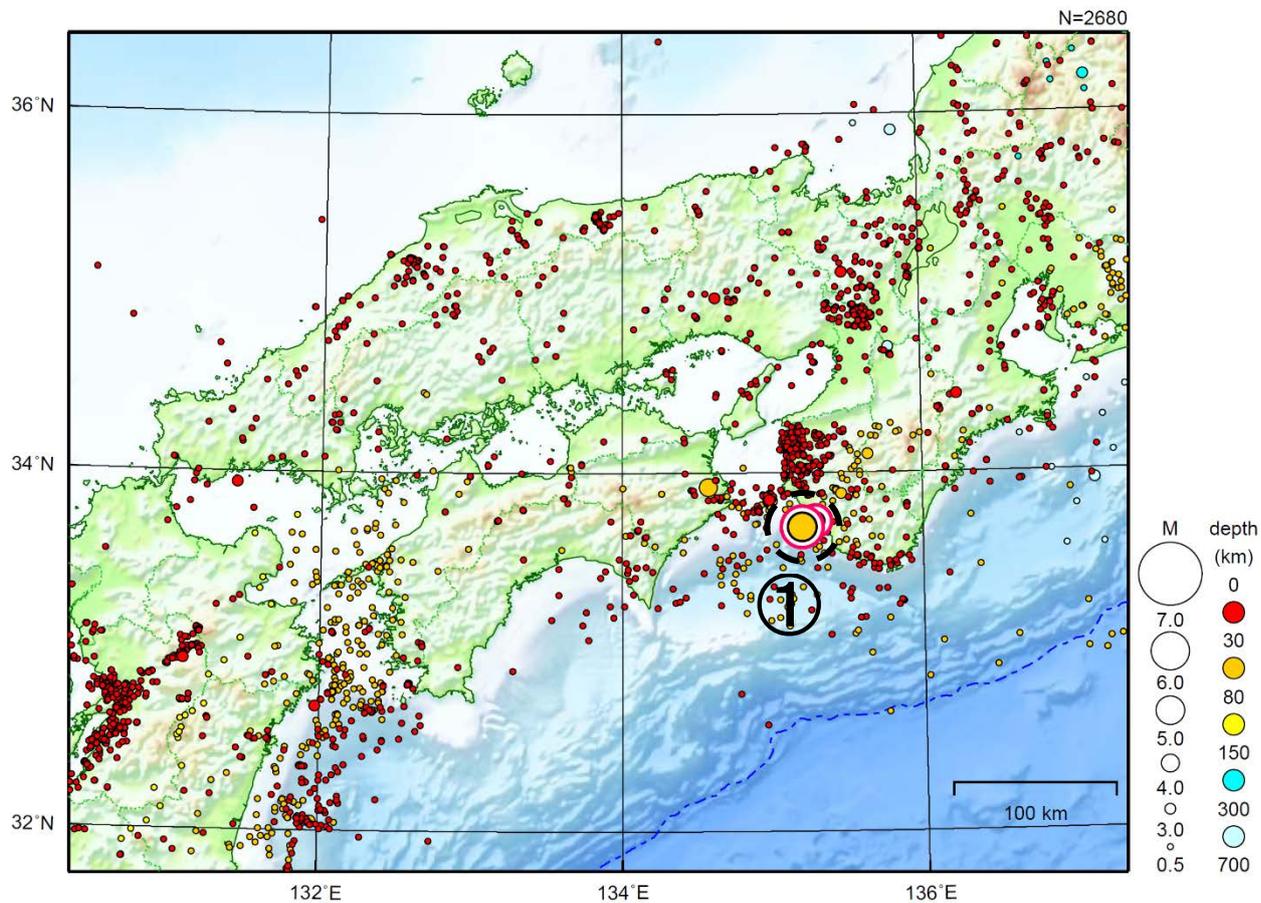


近畿・中国・四国地方

2018/11/01 00:00 ~ 2018/11/30 24:00



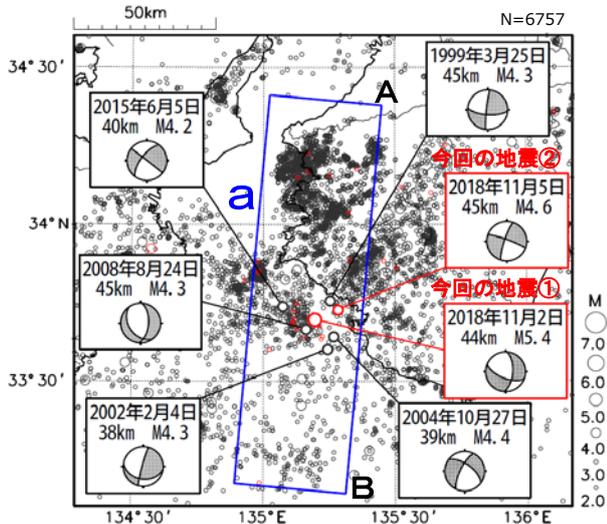
地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 11月2日に紀伊水道でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。その後、ほぼ同じ場所で5日にM4.6の地震（最大震度3）が発生した。

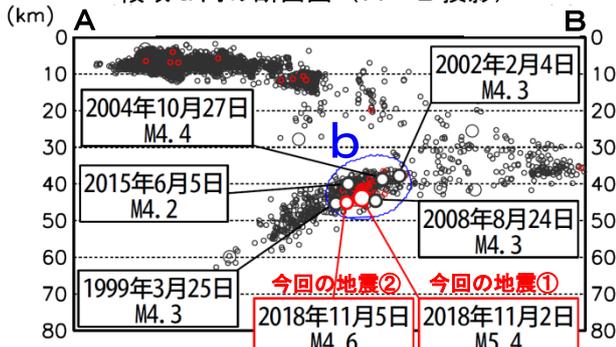
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

11月2日、5日 紀伊水道の地震

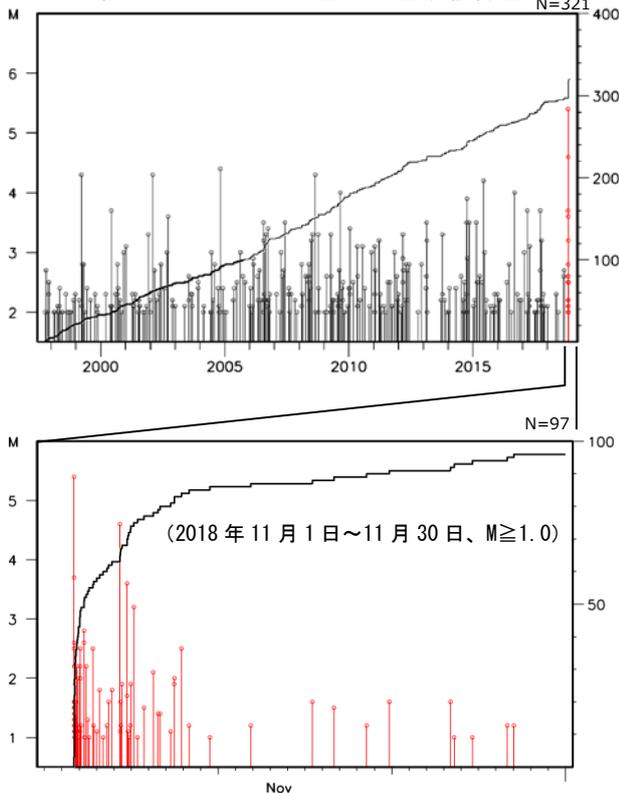
震央分布図
(1997年10月1日～2018年11月30日、
深さ0～80km、M \geq 2.0)
2018年11月の地震を○で表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図

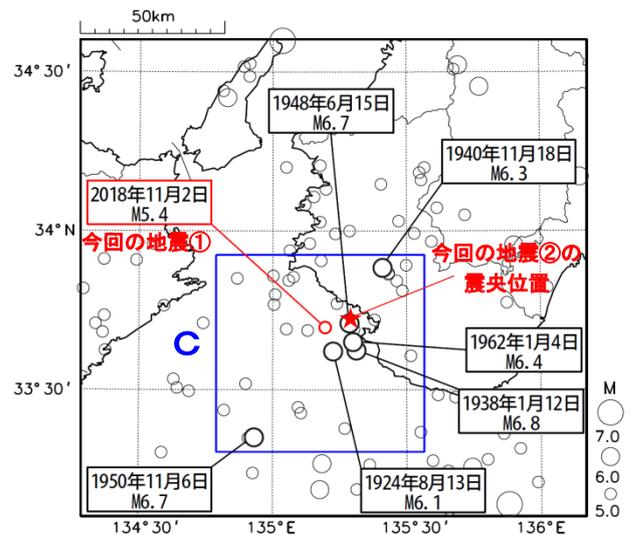


2018年11月2日16時53分に紀伊水道の深さ44kmでM5.4の地震 (最大震度4) が発生した (今回の地震①)。また11月5日にも紀伊水道の深さ45kmでM4.6の地震 (最大震度3) が発生した (今回の地震②)。これらの地震はいずれも、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は今回の地震①が初めてであった。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年～1962年にM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
(1923年1月1日～2018年11月30日、
深さ0～100km、M \geq 5.0)
2018年11月の地震を○で表示



領域c内のM-T図

